

平成24年第4回 洞爺湖町議会定例会一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
2番 小 松 晃	1. 平成25年度予算編成等について 2. 洞爺少年自然の家の廃止に伴う対応について 3. 「義務教育学校施設のあり方」の検討状況について	(1) 来春は真屋町政の任期最終年を迎えることから、予算編成に向けての基本的な考え方等を伺う。 (2) 早期健全化団体から脱却したとはいえ厳しい財政状況が続く中、疲弊した町の経済をどう活性化させようとしているか伺う。 (3) 先の選挙における公約「10の約束」は細かくは40項目に上っているが、既に約束を果たしたものの、残る任期中に約束を果たそうとしているものを町長はどのように捉えているのか。 (1) 道教委は11月26日、道議会文教委員会に「洞爺少年自然の家を2013年度末で廃止する」との方針を明らかにしたが、町にはいつ連絡があったのか。また、町はこれをどう受け止めたのか伺う。 (2) 廃止後の施設は「洞爺湖町が活用を希望する場合は協力を検討する」と言っているようだが、町はこれをどうしようと考えているのか伺う。 (1) 第1回定例会で「学校施設検討会を設置して、施設の現状と課題等を検討する」旨の答弁があったが、その進捗状況について伺う。	①
4番 立 野 広 志	1. 平和宣言の町にふさわしい平和事業の推進を 2. 世界ジオパーク・ネットワーク(GGN)再審査について	(1) 「洞爺湖町非核平和の町宣言」(以下「平和の町宣言」)を具現化する多様な平和事業の推進を求める。 ①宣言に対する認識と具現化へのこれまでの対応は。 ②成果と課題について検討はなされてきたか。 ③「平和の町宣言」の意義や内容が活かされるような行政運営となっているか。 ④町民と行政の協働による平和事業の推進のマスタープランを策定し、年度毎の事業計画を明らかにして平和事業を推進すべきではないか。 (1) 世界ジオパーク・ネットワーク(GGN)再審査に向けた、地域における活動の検証と今後の取り組むべき課題は何か。 ①再審査のポイントや要件はどうなっているか。 ②ジオパークの運営組織と地域住民の関わりについての現状と課題について。 ③ジオパークの推進とGGN再審査に向けた方策は。	②

平成24年第4回 洞爺湖町議会定例会一般質問

質問議員	件名	質問要旨	備考
<p>4番 立野広志</p>	<p>3. 介護報酬の改定と介護保険制度の改善について</p>	<p>(1) 4月から「改正」介護保険の施行、介護報酬改定、第5期事業計画が行われている下で、介護の実態と問題点を明らかにし、町行政の対応を求める。</p> <p>①介護保険法「改正」の問題点についての認識は。 ②介護報酬改定による主な内容と問題点に対する認識は。 ③第5期介護保険事業計画の進捗状況は。 ④法「改正」と報酬改定による介護現場での実態は。 ⑤社会保障制度改革推進法による社会保障制度の改正についての認識は。 ⑥介護報酬の再改定・介護保障の実現に向けた国への要請行動を行って頂きたい。</p>	
<p>9番 下道英明</p>	<p>1. 教育行政について</p> <p>2. 移住・定住について</p> <p>3. 観光振興について</p>	<p>(1) 学力向上、いじめ問題で教育委員会がよく取り上げられる。地域住民、保護者にとって議長役の委員長と事務局を統括する教育長の役割が不明瞭です。議会が教育活動を監視、評価することへの反対を前提として地域住民へ役割周知、教育行政の活性化には委員長と地域のふれあいが必要だと考える。委員長として、委員会の運営理念、また地域へ委員会活動の啓蒙をどのように進めているか伺う。</p> <p>(1) 移住・定住対策として、洞爺湖町出身者のUターン希望者の情報提供がほとんど無い。現状での取り組みは。 (2) 2市3町（洞爺湖、室蘭、伊達、壮瞥、豊浦）において、当町のUターンへのネット情報が少ないと思うが。 (3) 「カムバック・サーモン運動」、仕事先は町外でも外部から人を呼ぶ移住・定住対策から軸足を親のそばに住むことがかなう取り組みへ変えるべきではないか。</p> <p>(1) 近年の外交状況で中国旅行者の落ち込みが激しい。民間の努力だけでは厳しい。観光振興策として、中国以外の旅行者を呼び込む行政のバックアップができないか。 (2) イスラム圏内の観光客を取り組む施策はできないか。イスラム教徒が食事できるハラール環境を民間と協働して設置し、各ホテル等に配食するシステムを来年度以降に取り組めないか。</p>	<p>③</p>

平成24年第4回 洞爺湖町議会定例会一般質問

質問議員	件名	質問要旨	備考
<p>3番 松井保明</p>	<p>1. 予算編成について</p> <p>2. 泊原発事故の危機管理について</p>	<p>(1) 平成25年度「予算編成の基本方針」はいかなるものか。また、予算の配分は何を基にしているのか。</p> <p>(2) 歳入確保の面から、税や各使用料等町民に負担を求めるのか。</p> <p>(3) 地方交付税の見通しと交付税額減少を防ぐ対策はあるのか。</p> <p>(4) 財源確保方策として、PFI（プライベート・ファイナンス・イニシアチブ）での民間活力導入または過疎債等の活用の考えは。</p> <p>(5) 歳出の面で平成25年度における主要事業は何か。また、事業の休止と見直しはあるか。</p> <p>(6) 健全化を推進（公債費比率18%未満）に対応するため、景気対策としての財源確保はできるのか。</p> <p>(7) 奨励制度による事業（定住・移住・空店舗）に対する予算配分の考えは。</p> <p>(1) 30Km圏外の町村の立場から、いかなる対応をするのか。</p> <p>(2) 再稼動にあたり防災対策として、いかなる対応を考えているのか。（避難計画、モニタリングポストの設置）</p> <p>(3) 事故発生時における拡散予測をいかなる方法で住民に情報発信するのか。</p>	<p>④</p>
<p>13番 七戸輝彦</p>	<p>1. 町事業について</p> <p>2. 節電対策について</p> <p>3. 平成25年度事業の取り組みについて</p>	<p>(1) 水道事業のうち、民間に委託や発注しているものの割合は。（民間業者分）</p> <p>(2) 今後、直営から民間委託の更なる増を考えるべきでは。</p> <p>(3) メンテナンスやメーターの取替など、毎年必ず発生する仕事は、年度の早い時期に発注したほうが経済により影響を与えると思うが。</p> <p>(1) 昨年のもとの原発事故以来、町も節電対策に取り組んできたと思うが、具体策と効果は。</p> <p>(2) 今後の新たな節電対策は考えているか。</p> <p>(1) 平成23年度決算で、「早期健全化団体から脱却」との数値が認定された。平成25年度の予算編成の時期を迎えるが、特に考えていることはあるか。</p>	<p>⑤</p>

平成24年第4回 洞爺湖町議会定例会一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
<p>11番 沼田松夫</p>	<p>1. 地域経済と観光の振興と活性化について</p> <p>2. わが町の児童生徒の学力について</p> <p>3. 本町の水道水の改良について</p>	<p>(1) 商工会では町有地などの有効利用を模索している。合同で検討会など平成25年に向け考えてはよいのではないか。</p> <p>(2) 3年後には、北海道新幹線が函館まで来る。函館との観光連携をどのように進めているのか。</p> <p>(3) ニセコ、倶知安には冬期間のみならず、夏の長期滞在者が来て大きな経済効果があるようだ。観光連携を早急に取り取るべきと思うが現状はどうか。</p> <p>(4) 観光資源としてのロングラン花火の在り方について町としての考えは。</p> <p>(5) 風水・パワースポットとしての洞爺湖や観音島の円空作の観音像、弁天島の弁財天等を大いに売り出すべきではないか。</p> <p>(6) 洞爺地区の老三樹、藤棚、水の駅のポプラの木の保護について町の対応は。</p> <p>(1) 学力向上の取り組みの結果とその成果は。</p> <p>(2) 現状について、教員はどのように捉えているのか、アンケート調査等しているか。また、保護者の意識調査を行ったことはあるか。</p> <p>(3) 釧路市では児童生徒の「基礎学力保障条例」を制定し、学力の向上を目指すようだが、どのような効果があると思われるか。</p> <p>(4) 部活の部数はいくつあって、それに関わる先生の数と部に入っている生徒の数は。部活をすることはよいことだが、それが学力の低下理由になるのであれば本末転倒になるのでは。</p> <p>(5) 当町の教員で派遣教員はいるのか。</p> <p>(1) 本町の入江取水所の水が良くないのではと言われて久しい。町民は早い改良を待っているが、現状はどのようになっているのか。</p>	<p>⑥</p>
<p>5番 板垣正人</p>	<p>1. 電力問題について</p> <p>2. 小型家電リサイクル法について</p>	<p>(1) 自然環境や電力コストも考えリース方式により公共施設へのLED照明を導入すべきと思うが町の考えは。</p> <p>(2) 胆振管内で大停電が起きたが、今後停電に対して、当町としてどのような対応を検討しているのか。また、防災無線や町広報車等も利用すべきと思うが町の考えは。</p> <p>(1) 小型家電に含まれているレアメタル等、回収・リサイクルの取り組みについて町の考えは。</p>	<p>⑦</p>

平成24年第4回 洞爺湖町議会定例会一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
7番 篠原 功	<p>1. 洞爺地区郷土資料館について</p> <p>2. 町道ビワオク線の道道昇格の見通しについて</p> <p>3. 洞爺湖温泉地区の新たな泉源の確保について</p>	<p>(1) 6月議会の調査報告の中で、課題や問題点が出されているが、今後どのような計画で進められていくのか伺う。</p> <p>①建物について ②収蔵品の保管や展示について ③管理について</p> <p>(1) 泉公園線から旧230号線に接続する計画は、現在までどのように進んでいるのか。 (2) 噴火後、230号線の町道移管や高速道路のインターチェンジ移設により、泉、入江地区の旧230号線が特にまちづくりの中から取り残されている感がある。災害時の避難の主要道としても重要な道路であるので実現に向け一層の努力をすべきと思うが。</p> <p>(1) 現在の湯井は年々温度が低下傾向にあり、ヒートポンプで加温し各施設に供給している。近年、節電や省エネが問われる中、新たな地熱探索を西山や金比羅山付近に求めるべきではないか。</p>	⑧
10番 越前谷 邦 夫	<p>1. 平成25年度予算編成について</p> <p>2. 洞爺地区の地域振興策について</p>	<p>(1) 予算編成に対する政治理念と町民との協働のまちづくりをどのように進めようとしているのか見解を伺う。 (2) 平成25年度の重点施策は何か。 (3) 今、衆議院選挙によって、例えば政権交代がされた場合、洞爺湖町にはどのような影響があるのか。 (4) 洞爺湖町に居住している若い方々が雇用や子育て等の不安で悩んでいる。人口流出を防ぐためにも町として独自の居住推進策を明確にすべきと思うが町の考えは。</p> <p>(1) 行政に求められているのは、既存の施設の運用と資源の活用である。洞爺地区に源泉井戸が4箇所あるが、温泉湯を利用した活性化策を強化すべきと思う。温泉熱利用事業の概要と方向性を伺う。</p>	⑨

